



2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月8日

東

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 2024年3月29日
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期の連結業績(2023年1月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	15,889	10.2	△208	—	△15	—	△18	—
2022年12月期	14,420	△8.3	△572	—	△499	—	△639	—

(注) 包括利益 2023年12月期 17百万円(—%) 2022年12月期 △548百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	△2.18	—	△1.7	△0.2	△1.3
2022年12月期	△73.81	—	△42.6	△7.9	△4.0

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 56百万円 2022年12月期 51百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	6,706	1,187	16.4	126.83
2022年12月期	6,022	1,243	19.4	134.76

(参考) 自己資本 2023年12月期 1,099百万円 2022年12月期 1,168百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	28	188	△157	2,604
2022年12月期	△370	△107	△245	2,505

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00	86	—	7.4
2023年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00	43	—	3.9
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		39.4	

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	16,600	4.5	250	—	330	—	220	—	25.38

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	8,874,400株	2022年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期	205,838株	2022年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	8,668,562株	2022年12月期	8,668,562株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年12月期の個別業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	1,020	△20.1	109	△65.5	174	△41.7	129	△54.7
2022年12月期	1,277	△2.2	318	△8.3	299	△11.8	285	△7.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期	14.93	—
2022年12月期	32.97	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	3,060	2,066	67.5	238.36
2022年12月期	3,051	2,023	66.3	233.41

(参考) 自己資本 2023年12月期 2,066百万円 2022年12月期 2,023百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2024年2月9日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

<当連結会計年度の概況>

当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が緩和されつつあるものの、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めによる為替相場の変動等により、世界経済は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況において当社グループは、事業構造改革による収益基盤の改善を進めつつ、SaaS(*1)をはじめとするクラウド(*2)関連製品・サービスを拡大させ、顧客のDX(*3)に資する最適なソリューションを提供しております。

当連結会計年度の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

半導体不足の解消に伴い、ハードウェアの需給が緩和し、オンプレミス(*4)向けの製品・サービスが復調傾向となりました。この結果、Red Hat Enterprise Linux(*5)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*6)は好調な増収となりました。また、主力自社製品である「LifeKeeper」(*7)はオンプレミス向けの復調に加え、クラウド向けも伸長したことから堅調な増収となりました。これらにより、売上高は9,909百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は90百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

② アプリケーション事業

金融機関向け経営支援システム販売は減収となりました。一方、システム開発・構築支援はAPI(*8)関連や証券系業務システムの案件が増加したことにより順調な増収となりました。また、「Gluegentシリーズ」(*9)も順調な増収となりました。これらにより、売上高は5,967百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

利益面では、増収により前年同期比で改善したものの、人件費の増加、Med Tech(*10)事業を中心に新製品・サービスへの投資を強化したことにより、セグメント損失は311百万円（前年同期は570百万円の損失）となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は15,889百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失は208百万円（前年同期は572百万円の損失）、持分法による投資利益、投資事業組合運用益及びデリバティブ評価益の計上により経常損失は15百万円（前年同期は499百万円の損失）となりました。また、関係会社株式評価損、減損損失及び事業譲渡損失を計上した一方で、繰延税金資産の計上等に伴い法人税等が減少したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は18百万円（前年同期は639百万円の損失）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：△147百万円（前年同期は△469百万円）

ROIC（年率換算数値）：△10.1%（前年同期は△25.1%）

(*1) SaaS

Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること。

(*2) クラウド

利用者がサーバーやソフトウェア等を保有せず、ネットワーク経由でサービスを利用する形態。

(*3) DX

デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(*4) オンプレミス

利用者がサーバーやソフトウェア等を保有し、運用する形態。

(*5) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(*6) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。

(*7) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*8) API

異なるソフトウェアやアプリケーション間で情報・機能を共有するための仕組み。

(*9) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*10) Med Tech

Medical（医療）とTechnology（技術）を組み合わせた造語。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加404百万円等の要因により、5,741百万円（前連結会計年度末比10.5%増）となりました。

固定資産は、繰延税金資産の増加100百万円等の要因により、965百万円（同16.7%増）となりました。

この結果、総資産は、6,706百万円（同11.4%増）となりました。

②負債

流動負債は、契約負債の増加451百万円等の要因により、5,130百万円（前連結会計年度末比18.3%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少66百万円等の要因により、388百万円（同12.1%減）となりました。

この結果、負債合計は、5,518百万円（同15.5%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の減少105百万円等の要因により、1,187百万円（前連結会計年度末比4.5%減）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し2,604百万円となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△370	28	398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107	188	295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245	△157	88

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは28百万円の収入となりました。これは、契約負債の増加額等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは188百万円の収入となりました。これは、デリバティブ取引による収入等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは157百万円の支出となりました。これは、配当金の支払い、長期借入金の返済による支出等によるものです。

(4) 今後の見通し

地政学的リスクの増大等を背景とした物価上昇や、金融市場の変動等、世界経済は先行き不透明な状況が続いています。このような環境下において、当社グループは、変化に柔軟かつ俊敏に対応できるよう、引き続きSaaS・サブスク事業に投資しつつ、事業構造改革を実行してまいります。加えて、今後、新規事業領域を拡大・強化することにより、2024年から2026年までの中期経営計画では更なる業績の向上を実現し、2026年にEBITDA 8.8億円、ROIC 24.3%の達成を目指してまいります。

2024年12月期の業績については、売上高は16,600百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は250百万円（前年同期は208百万円の損失）、経常利益は330百万円（同15百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は220百万円（同18百万円の損失）を見込んでいます。

利益配分につきましては、当期は1株あたり5円の配当を実施予定です。また、2024年12月期につきましても、現時点での業績予想を前提に、1株あたり10円の配当を継続する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,505,766	2,604,002
受取手形、売掛金及び契約資産	2,028,395	2,433,031
商品	13,558	-
仕掛品	13,267	2,267
前渡金	272,047	532,496
その他	362,291	169,429
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	5,195,125	5,741,026
固定資産		
有形固定資産		
建物	182,331	139,856
減価償却累計額	△132,199	△97,706
建物（純額）	50,131	42,149
工具、器具及び備品	173,538	182,162
減価償却累計額	△143,142	△152,925
工具、器具及び備品（純額）	30,396	29,236
リース資産	132,117	88,587
減価償却累計額	△99,814	△27,151
リース資産（純額）	32,303	61,435
有形固定資産合計	112,830	132,822
無形固定資産		
ソフトウェア	48,496	36,780
ソフトウェア仮勘定	29,879	34,332
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	79,817	72,554
投資その他の資産		
投資有価証券	380,634	407,162
退職給付に係る資産	50,635	57,004
差入保証金	127,063	119,273
繰延税金資産	28,865	129,377
その他	47,359	47,359
投資その他の資産合計	634,558	760,177
固定資産合計	827,206	965,554
資産合計	6,022,332	6,706,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,084,110	1,235,031
1年内返済予定の長期借入金	66,000	66,000
リース債務	29,700	59,039
未払法人税等	-	30,509
契約負債	2,760,665	3,212,077
その他	396,729	527,833
流動負債合計	4,337,206	5,130,492
固定負債		
長期借入金	115,500	49,500
退職給付に係る負債	302,712	320,317
リース債務	11,746	6,676
長期預り金	11,632	11,632
固定負債合計	441,591	388,127
負債合計	4,778,798	5,518,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	△130,975	△236,541
自己株式	△87,254	△87,254
株主資本合計	1,263,289	1,157,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,147	9,796
繰延ヘッジ損益	-	187
為替換算調整勘定	△100,273	△68,280
その他の包括利益累計額合計	△95,125	△58,296
新株予約権	75,369	88,534
純資産合計	1,243,534	1,187,961
負債純資産合計	6,022,332	6,706,581

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,420,269	15,889,487
売上原価	9,753,613	10,673,285
売上総利益	4,666,656	5,216,202
販売費及び一般管理費	5,239,539	5,424,916
営業損失(△)	△572,883	△208,713
営業外収益		
受取利息	6,435	16,437
受取配当金	1,310	1,098
業務受託料	1,711	1,898
投資事業組合運用益	-	82,586
持分法による投資利益	51,710	56,667
デリバティブ評価益	75,384	37,648
その他	9,777	6,133
営業外収益合計	146,328	202,469
営業外費用		
支払利息	1,541	947
為替差損	64,915	3,897
投資事業組合運用損	6,364	2,395
外国源泉税	-	2,059
その他	-	3
営業外費用合計	72,821	9,303
経常損失(△)	△499,376	△15,547
特別利益		
固定資産売却益	-	124
特別利益合計	-	124
特別損失		
関係会社株式評価損	-	19,000
減損損失	40,609	30,744
固定資産除却損	2,409	123
事業譲渡損失	-	27,933
特別損失合計	43,019	77,801
税金等調整前当期純損失(△)	△542,395	△93,224
法人税、住民税及び事業税	44,435	32,444
法人税等調整額	52,962	△106,788
法人税等合計	97,397	△74,344
当期純損失(△)	△639,793	△18,880
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△639,793	△18,880

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純損失(△)	△639,793	△18,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,740	4,648
繰延ヘッジ損益	-	187
為替換算調整勘定	81,966	30,275
持分法適用会社に対する持分相当額	462	1,716
その他の包括利益合計	91,168	36,828
包括利益	△548,624	17,948
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△548,624	17,948

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,520	630,831	△87,254	2,025,096
会計方針の変更による累積的影響額		8,014		8,014
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,481,520	638,846	△87,254	2,033,111
当期変動額				
剰余金の配当		△130,028		△130,028
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△639,793		△639,793
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	△769,821	-	△769,821
当期末残高	1,481,520	△130,975	△87,254	1,263,289

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3,592	△182,701	△186,294	58,882	1,897,685
会計方針の変更による累積的影響額					8,014
会計方針の変更を反映した当期首残高	△3,592	△182,701	△186,294	58,882	1,905,699
当期変動額					
剰余金の配当					△130,028
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△639,793
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,740	82,428	91,168	16,487	107,656
当期変動額合計	8,740	82,428	91,168	16,487	△662,165
当期末残高	5,147	△100,273	△95,125	75,369	1,243,534

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,520	△130,975	△87,254	1,263,289
当期変動額				
剰余金の配当		△86,685		△86,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△18,880		△18,880
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	△105,566	-	△105,566
当期末残高	1,481,520	△236,541	△87,254	1,157,723

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,147	-	△100,273	△95,125	75,369	1,243,534
当期変動額						
剰余金の配当						△86,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△18,880
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,648	187	31,992	36,828	13,164	49,993
当期変動額合計	4,648	187	31,992	36,828	13,164	△55,572
当期末残高	9,796	187	△68,280	△58,296	88,534	1,187,961

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△542,395	△93,224
減価償却費	103,079	61,034
減損損失	40,609	30,744
事業譲渡損益(△は益)	-	27,933
受取利息及び受取配当金	△7,745	△17,535
支払利息	1,541	947
投資事業組合運用損益(△は益)	6,364	△80,191
持分法による投資損益(△は益)	△51,710	△56,667
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	177,759	△393,749
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,335	23,124
仕入債務の増減額(△は減少)	△132,389	150,920
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30,868	17,604
契約負債の増減額(△は減少)	265,931	399,386
前渡金の増減額(△は増加)	△48,729	△260,449
未払消費税等の増減額(△は減少)	△144,217	117,495
その他	△5,504	50,326
小計	△315,873	△22,299
利息及び配当金の受取額	13,320	25,308
利息の支払額	△1,541	△947
法人税等の還付額	40,802	45,078
法人税等の支払額	△107,086	△18,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	△370,380	28,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,146	△16,983
無形固定資産の取得による支出	△18,996	△24,517
差入保証金の差入による支出	△447	△551
差入保証金の回収による収入	8,918	49,229
投資有価証券の取得による支出	△45,000	△1,000
貸付金の回収による収入	6,583	7,031
資産除去債務の履行による支出	△35,864	-
デリバティブ取引による収入	20,237	103,840
事業譲渡による支出	-	△26,150
投資事業組合からの分配による収入	-	97,100
その他	-	128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,717	188,128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△129,638	△86,270
長期借入金の返済による支出	△109,000	△66,000
リース債務の返済による支出	△7,232	△5,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,871	△157,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	80,929	39,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△643,038	98,235
現金及び現金同等物の期首残高	3,148,805	2,505,766
現金及び現金同等物の期末残高	2,505,766	2,604,002

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、市場・顧客及び技術領域に応じた部門及び子会社を置き、OSやミドルウェア等のオープンシステム基盤分野と、業務アプリケーション等のアプリケーション分野において各種製品・サービス提供をしております。

したがって、当社グループは、「オープンシステム基盤事業」及び「アプリケーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントの事業内容は以下のとおりであります。

・オープンシステム基盤事業

当事業においては、ITシステムの障害時のシステムダウンを回避できるソフトウェア「LifeKeeper」、Red Hat, Inc. 関連商品をはじめとするOSS関連商品の販売、並びにOSSに関するさまざまな問い合わせに対応するサービス「サイオスOSSよろず相談室」、各種情報システム向けコンサルティングサービス等を行っています。

・アプリケーション事業

当事業においては、MFP向けソフトウェア製品、金融機関向け経営支援システム、クラウドサービスのSaaS「Gluegentシリーズ」、企業情報システムの受託開発、各種情報システム向けコンサルティングサービス等を行っています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、当社では報告セグメントに資産を配分しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	オープンシス テム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,716,945	5,691,612	14,408,558	11,711	14,420,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,651	6,651	△6,651	—
計	8,716,945	5,698,263	14,415,209	5,060	14,420,269
セグメント損失(△)	△13,792	△570,802	△584,594	11,711	△572,883
その他の項目					
減価償却費	26,383	76,695	103,079	—	103,079

(注) セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整しております。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	オープンシス テム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,909,414	5,967,473	15,876,887	12,600	15,889,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,927	5,927	△5,927	—
計	9,909,414	5,973,400	15,882,814	6,672	15,889,487
セグメント利益又は損失(△)	90,085	△311,399	△221,313	12,600	△208,713
その他の項目					
減価償却費	22,433	38,600	61,034	—	61,034

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
13,627,952	522,702	169,900	99,713	14,420,269

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	計
85,515	27,315	112,830

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大塚商会	3,895,330	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業
株式会社ネットワーク	1,612,241	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業

当連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
15,068,145	536,857	175,994	108,490	15,889,487

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	計
75,011	57,810	132,822

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大塚商会	4,229,893	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業
株式会社ネットワーク	2,026,750	オープンシステム基盤事業及びアプリケーション事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
当期末残高	—	40,609	40,609	—	40,609

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	オープンシステム基盤事業	アプリケーション事業	計		
当期末残高	—	30,744	30,744	—	30,744

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	134.76円	126.83円
1株当たり当期純損失(△)	△73.81円	△2.18円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△639,793	△18,880
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△639,793	△18,880
普通株式の期中平均株式数(株)	8,668,562	8,668,562
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期 純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	(連結子会社) 新株予約権 2012年3月22日 取締役会決議 普通株式 570,750株 新株予約権 2022年3月30日 取締役会決議 普通株式 107,000株	(連結子会社) 新株予約権 2012年3月22日 取締役会決議 普通株式 638,917株 新株予約権 2022年3月30日 取締役会決議 普通株式 197,125株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。